

競争力と持続力を持つ交流6次化モデルの構築特区

[指定：平成24年7月、認定：平成25年3月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(3.9+3.6)/2=3.8$

3.8

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	耕作放棄面積	87%	4
2	農業従事者	94%	4
3	農業生産出荷額	103%	5
4	農業所得	89%	4
5	市人口社会増減数	476%	5
6	観光入込客数	96%	4
7	地域資源を活用する民間企業の誘致数	0%	1

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 2 + 4 \times 4 + 3 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 1) / 7 = 3.9$

3.9

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
 (例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

3.6

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 $(2+2+3.5)/3=2.5$

2.5

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

2.0

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

2.0

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

3.5

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.0

・規制の特例措置等を活用した事業や、国の支援措置に係る財政・税制・金融支援は活用実績がないが、地域独自の取組は相当程度、活発であると評価できる。

・農業産出額、農業所得は増加しており、当該特区の農業生産力のポテンシャルはかなり高いものがある。このポテンシャルを生かした戦略を構築することが必要だと考える。

・市の人口の社会的増加については、減少を食い止める方針だったものが増加に転じている。この点は画期的であるが、移住世帯の世代別や家族構成、就業先など、さらなる分析を行い今後の戦略に生かすことが必要であろう。

・観光入り込み客数は増加しており、首都圏に近い立地条件をもっと活かすことができないか。

・「地域資源を活用する民間企業の誘致」の具体像が依然見えない。完熟農園の跡地活用が難航しているようだが、市が目指す六次産業化や観光の拠点になるのかどうかも定かでない状況。事業の核はどこにあるのかが見えてこない。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.0

総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算 $(3.8+2.5+3 \times 2) \div 4 = 3.1$

3.1

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

・評価は5～1(評点)で行う。

・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。

・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。